

## 2018全国高齢者集会 人見会長あいさつ

皆さん、こんにちは。

2018全国高齢者集会に全国から結集された皆さん大変ご苦労様です。

皆さんの中央・地方におけるご活躍に心から敬意を表します。

またご多忙のなか、本集会にご出席賜りました連合神津会長はじめご来賓の皆様にご挨拶申し上げます。皆様には日頃より物心両面にわたりご指導・ご支援を頂いていることにこの場をかりて感謝申し上げます。ありがとうございます。

今年も、大阪北部地震、西日本豪雨災害、台風21号による災害、北海道胆振東部地震災害により大きな被害が発生しました。多くの方々が亡くなられました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

東日本大震災や、熊本地震、九州北部豪雨で被災された全ての皆さんの一日も早い復旧・復興により生活再建されるよう祈念します。一連の災害に対し、政府が一丸となって必要な対策を取るよう強く求めたいと思います。

また、福島原発事故は未だに事故原因の究明がされない中、放射能による健康問題や汚染水対策、核燃料の取り出しなど見通しが立っていない状況にあります。この様な中で被災された皆様は帰りたくても帰れない、帰る見通しもたない状況におかれています。私たちは原発事故の悲惨な現状を直視し被災者に寄り添い、一日も早い帰還に向け事故原因の究明と復興の取り組みを強化しなければなりません。

さて、今、日本は人口減少・超少子高齢社会になりました。「高齢者が更に高齢化する」という社会になりました。2025年には、団塊の世代が75歳以上になります。2040年には65歳以上の高齢者は3,921万人に達し、人口の35.3%を占めます。

2017年度の社会保障給付費は117兆円にのぼりました。2040年には190兆円必要になります。この現実に対応するのかが、検討が求められています。

政府は社会保障給付費を抑制するため「骨太方針2015」を閣議決定し、2016年度から2018年度の3年間で社会保障費の自然増を抑えて4,400億円削減しました。

今年6月には骨太方針2018を閣議決定し、引き続き社会保障費の抑制をはかろうとしています。

日本退職者連合は持続可能な社会保障制度の構築をめざして政策制度要求を決定し、政府をはじめ各政党にも要請し、要求の実現をめざしています。日本退職者連合は年金・医療・介護等の社会保障制度を持続可能な制度として後世に残していくよう取り組んでいます。財源の確保なくして制度は維持できません。

そのためには良質な雇用、賃金の引上げ、労働分配率の引上げ、所得再分配機能の強化が不可欠です。税制の改革も必要です。社会保障制度は支え合いの制度です。この制度を再構築し、安心の社会保障制度とするため連合と現退一致の闘いをすすめます。

この通常国会は安倍政権の一強ふりがより鮮明になりました。森友・加計学園問題では嘘と公文書改ざんで国民と国会をあざむき民主主義の土台を壊してしまいました。安倍首相の無責任な対応に国民は厳しい目を向けています。何のための国会審議だったのか、未だに疑惑の解明はされていません。

国会を延長してまで行ったのは働き方改革関連法案で高度プロフェッショナル制度の導入とカジノ賭博法案の強行採決でした。国民の多くが反対しているにもかかわらず数にものを言わせて強行採決をくり返しました。

先の通常国会は嘘と忖度と強行採決の国会だったと断ぜざるを得ません。この責任はすべて安倍首相にあります。

9月20日には自民党総裁選挙が実施されます。この自民党総裁選は、実質日本の総理大臣を選ぶ選挙です。安倍首相の三選が濃厚です。しかし、安倍三選は安倍政治の終りの始まりです。2021年には安倍自民党総裁の任期は終了します。

しかし皆さん、私たちはそれまで待てません。何故なら次は国民が求めている憲法9条改悪を強行してくるからです。憲法の理念である平和主義・基本的人権の尊重・主権在民の考えと自民党が進める憲法9条改悪は相入れないからです。

国民は、憲法改正より経済政策や社会保障の充実を求めています。

2019年は統一自治体選挙と参議院議員選挙があります。この参議院議員選挙で改選議席数の過半数を野党が確保すれば安倍首相は退陣を余儀なくされるでしょう。何としても連合が推薦する全ての候補者の勝利をめざしてこの政治決戦を戦い抜き、安倍政権を退陣させましょう。

最後になりますが持続可能な社会保障制度の構築と政策・制度要求の実現は日本退職者連合の最重要課題です。退職者連合は高齢者が、そして全ての国民が心豊かに地域で、健康で生き生きと暮らすことが出来る社会をめざしています。

退職者連合は、連合との政策調整・連携を強め、各種選挙では退職者連合の総力を結集して闘います。

安倍一強政治を一日も早く終らせましょう。

以上、実行委員会を代表しての挨拶とします。

ありがとうございました。